



案者と事務局とで意見を参考にしながら、今後の進め方について打合せする予定です。

その後、アイデア提案者を中心として協働プロジェクトが実行できると判断されたものについては、協働プロジェクトとして開始していきます。

なお、協働プロジェクトのアイデアについては随時募集中です。「6月に応募できなかったけど、こんなことを思いついた！こんなことをやりたい！」などありましたら、いつでも事務局までお寄せ下さい。

#### ■協働ネットワークシンポジウム（仮称）の開催について

この6月で設立から2年が経過した本ネットワークですが、これまで構成員が一堂に会するような機会がありませんでした。

事務局では道内の防災教育の取組を活性化していくためには、構成員同士が交流し、相乗効果を発揮させていくことが欠かせないと考え、シンポジウムを開催することといたしました。

シンポジウムは10月28日（金）の午後3時から午後5時半にかけて、札幌市内で開催する予定です。シンポジウムに引き続き、交流会も企画しています。

来月のメールマガジンでは、詳細についてご案内する予定です。

多くの構成員の皆様に参加していただけることを期待しています。

\*\*\*\*\*

#### 【2】イベントピックアップ

8月の防災イベントを紹介！

##### 【砂川市】「第46回市民防火のつどい」

8月5日（金）、砂川市地域交流センター「ゆう」（東3条北2丁目）を会場に、砂川市防火団体連絡協議会が主催する「第46回市民防火のつどい」が開催されます。（13時30分～15時30分）

AEDや放水、消火器などの模擬体験をはじめ、防災グッズや消防被服の展示を通じて、消防・防災に対する意識の向上を図り、「災害に強い、安全なまちづくり」を築くことを目的としています。

今年度は、「砂川市民劇団 心呂座（ころぞ）」による演劇もあります。

また、夏休み中ということもあり、ちびっこ広場も設けられます。

消防車の乗車体験や防災おもちゃすくい、風船コーナーなどもあり、親子で楽しみながら消防・防災について学べるイベントです。

詳しくは、砂川消防署予防課広報係（0125-54-2196）にお問い合わせください。

**【浜中町】「霧多布地区夏まつり 消防体験コーナー」**

8月13日（土）、浜中町総合文化センター駐車場（霧多布西3条1丁目）を会場に、霧多布地区夏まつりに合わせ、浜中消防署員による消防体験コーナーが設置されます。（16時～18時）

綱渡り体験や放水体験、また、お子さん向けに、消防用ホースを伸ばしてボウリングのピンを倒すコーナーもあり、景品も用意されます。

消防体験を通じて日頃の消防・防災に対する意識啓発につながるイベントとして、ぜひ足を運んでみてください。

**【伊達市】「2016消防・防災フェア」**

8月28日（日）、伊達市防災センター（松ヶ枝町13番地）を会場に、伊達消防署員や女性消防団員による「消防・防災フェア」が開催されます。（13時～16時）

暗闇体験、煙体験、起震車での地震体験、救助体験、放水体験、はしご車体験をはじめ、救急車や救助工作車、除雪車の見学をすることができ、各アトラクションを4つ以上体験したお子さん（中学生以下）には、記念グッズも用意しています。

その他、風船プレゼントコーナーや消防職員による放水デモンストレーションなども予定されています。

各種体験や見学を通して、親子で消防・防災について楽しみながら学べる機会ですので、ぜひ足を運んでみてください。

詳しくはこちらから。

<http://www.city.date.hokkaido.jp/eventcal/detail/00004013.html>

**■その他のイベント情報はこちらから**

- ・ネットワークイベントカレンダー（平成28年8月～平成29年3月）

<http://kyouiku.bousai-hokkaido.jp/wordpress/network/>

\*\*\*\*\*

**【3】日本全国！ぼうさいの取組紹介！**

日本全国に視点を広げ、特色のある防災の取組を紹介します！

皆さんが行う防災の取組の参考となれば幸いです。

今回は、”防災をおしゃれで分かりやすく”をコンセプトに全国各地で活躍する「防災ガール」(本部：横浜市)の新たな活動についてご紹介します。

## 【防災ガール】オレンジ色を津波防災の色に！「#beORANGE」プロジェクト

防災ガールでは、地域を問わず、どこでも容易に取り入れられる津波防災モデルとして、オレンジ色をキーカラーとしたプロジェクト「#beORANGE (ハッシュビーオレンジ)」を開始しました。

オレンジ色は海の色である青と対照色であるため、沿岸部で生活する人々にとって視認性が高い色で、また、失敗をしても諦めないなどの意味を持つと同時に、ショックやトラウマを表す色でもあるとのこと。

防災ガールでは、津波防災を日常のものとするため、高知市と愛知県田原市、静岡県下田市の3ヶ所で、各地域のハザードマップ・浸水予測図に基づき、指定の「津波避難ビル」や学校施設・マンション等にオレンジ色の旗を掲示する予定です。

また、プロジェクトに共感する賛同者にはオレンジ色のもの（ミサンガなど）を身につけて写真撮影し、「#beORANGE」をつけて、twitter や Instagram, facebook に投稿することを呼びかけています。

7月18日（海の日）に東京で行われたオープニングイベントではオレンジの衣装を身にまとった参加者が東京都内を練り歩き、津波防災としてのオレンジ色を強くアピールしました。

「#beORANGE」プロジェクトについての詳細はホームページ (<http://beorange.jp/>) をご覧下さい。

\*\*\*\*\*

## 【4】お知らせ

### ■ 損保協会「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」募集中

日本損害保険協会では、今年で13回目を迎える「ぼうさい探検隊マップコンクール」を行っています。

小学生がまちにある防災施設などを見て回り、身の回りの安全・安心を考えながらマップにまとめて発表する「ぼうさい探検隊」。小学生は2名から参加でき、大人は指導者として参加できます。

今年のぼうさい探検隊マップコンクールの応募〆切は、11月9日（水）です。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.sonpo.or.jp/protection/bousai/>

### ■ 「北海道シェイクアウト2016」参加者募集中

今年も、「防災の日」である9月1日（火）に、北海道シェイクアウト訓練を実施します。

シェイクアウトとは、2008年にアメリカのカリフォルニア州で始まった、地震を想定して参加者が一斉に行動するという訓練であり、参加者は同じ日時にそれぞれの場

所で、1分間「Drop（まず低く）、Cover（頭を守り）、Hold on（動かない）」の基本行動を行うものです。

2015年にはアメリカを中心に世界で4,393万人近くの参加者となり、世界最大規模の防災訓練に発展しています。

なお、シェイクアウト（ShakeOut）は造語であり、直訳すれば「地震をやっつける」「地震に負けるな」等の意味になります。

シェイクアウト訓練は地震時に自分の身を守るために、とるべき行動をあらかじめ決め、習慣づけるのに有効な訓練です。職場や学校、自宅など普段の暮らしの中で実施できる実践的な訓練ですので、ぜひ地域の皆さんで参加しませんか。

現在、北海道の参加登録者は6万人を超えています。より多くの方の参加登録をお待ちしています。参加登録など、詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/ktk/shakeout/2016.htm>

#### ■「北海道地域防災マスター認定研修会」の開催について

道では、ボランティアとして地域の防災活動に取り組んだり、災害時には地域の防災リーダーとして活躍いただく、「北海道地域防災マスター」の育成に取り組んでいます。

「北海道地域防災マスター」の認定を受けるための講習会は、今年度、道内各地で計4回開催されます。

- ・第1回 7月30日（土）新ひだか町
- ・第2回 9月11日（日）札幌市  
募集期間 8月4日（木）まで
- ・第3回 10月15日（土）留萌市  
募集期間 8月1日（月）～9月9日（金）まで
- ・第4回 11月1日（火）根室市

受付は、申込み順となりますので、お早めに申込みをお願いします。

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/ktk/bsb/bosaimaster.htm>

\*\*\*\*\*

#### 【5】ネットワークへようこそ！

7月25日（月）現在のネットワーク構成員数は、92（30個人・62団体）です。

<http://kyouiku.bousai-hokkaido.jp/wordpress/network/>

このコーナーでは、参画いただいている皆様の横顔を順次、ご紹介していきます。

#### 【DCM ホーマック株式会社】

DCM ホーマック（株）では、防災・災害に関する商品を取扱っており、これまで9月1日の「防災の日」に向けた取り組みとして、各店舗において防災・災害用品のコーナーを設けて販売するなど、防災の普及啓発に努めています。

平成26・27年度には、ほっかいどう防災教育協働ネットワークの「ほっかいどう防災ひろば in チカホ」のイベントにもご参加いただきました。

近年、住民の方の防災意識が高まる中、東日本大震災では、岩手・宮城・茨城県の店舗が甚大な被害を受けたこともあり、DCM ホーマック（株）として防災商品を取扱って販売しているだけでなく、もっと積極的に住民の方に防災・災害に関する多くのことを知っていただくために、情報発信の場として、防災・災害に対する取組の強化を目指しています。

今年度は、地域住民の防災・災害意識の向上に役立つ活動として、他業種・他企業と連携し、啓発イベントを実施することを企画しています。

\*\*\*\*\*

#### 【編集後記】

今月号では、協働プロジェクト案へのご意見や協働ネットワークのシンポジウムのお知らせなど、ネットワークでの新たな取組に関連する記事を掲載しています。ネットワークの設立から2年を超え、パワーアップした取組を進めて参りますので、皆様のご協力をお願いいたします。

さて、7月12日は、平成5年に北海道南西沖地震が発生した日でした。私どものフェイスブック（ほっかいどうの防災教育）では、北海道南西沖地震の記事を載せましたが、通常に比べ多くのシェアをいただき、ヒット数が通常の8倍以上になりました。

この地震では、津波の襲来などにより大きな被害が発生しましたが、私の記憶には、地震・津波の被害を伝える映像のほか、（ロッカーが倒れるかもしれないから）部屋の真ん中に集まって！と叫んだ人の声や窓から見えた新聞社の赤いパトランプの光などのリアルな記憶も思い出され、忘れることの出来ない23年前の7月12日です。

ネットワークの取組も災害の伝承も、皆様のお力をいただきながら、様々な機会を捉えて情報発信していきますので、今後ともよろしく願いいたします。（つ）

=====

発行：ほっかいどう防災教育協働ネットワーク事務局

（北海道総務部危機対策局危機対策課）

- ・最新情報発信中！フェイスブック「ほっかいどうの防災教育」

<https://www.facebook.com/hokkaido.bousaikyouiku>

- ・ポータルサイト「ほっかいどうの防災教育」

<http://kyouiku.bousai-hokkaido.jp>